

# 巨大石室古墳をつくる

完成した古墳におさめられた石棺の中に、亡くなった人が埋葬されます。棺の中や石室の中には、副葬品（生きていた時に愛用していたものや権力を示すもの、亡くなった人への供え物など）が入れられました。

この古墳は一辺が25mほどでそれほど大きくないものですが、それでもこのような古墳をつくることのできる人は限られていました。そして、古墳をつくるために、多数の人々が作業をしたと考えられます。

古墳をつくる、それは古墳時代の人にとって最大の土木工事だったのです。



「副葬された須恵器」



「発掘調査のようす」

## 小畑5号墳のデータ

方墳、一辺25m、高さ4.9m（床面から墳頂まで）

横穴式石室：全長12.5m

玄室（亡くなった人をおさめる部屋）

：長4.9m、幅2.1～2.3m、高さ2.6m

羨道（玄室と外をつなぐ通路）

：長7.6m、幅1.7～2.2m、高さ1.7m

周溝：幅1.3～3.5m、深さ1m

<おもな副葬品>

須恵器49個、土師器4個、馬具（馬につける飾り金具）14点

刀装具（刀を飾る金具類）、鉄のやじり など

※この古墳は現在、鳥取市布勢の総合運動公園内に移築復元されています。



「調査途中の小畑5号墳」

土を盛り上げてつくった大きな墓（古墳）をつくるのがさかんだった古墳時代。鳥取県内にも、古墳時代の約400年間に1万基をこえる古墳がつけられました。その大半は円墳や方墳などの小型のものですが、中には全長が100mをこえるような前方後円墳もあります。現在のように、クレーンやブルドーザーなどがいない時代です。巨大な石を運び、土を盛り上げて古墳をつくるには、人の力だけが頼りだったと考えられます。古墳時代の人はいかにして古墳をつくっていったのでしょうか。

古墳時代後期（今から約1400年前）の古墳、岩美町小畑5号墳の発掘調査の結果をもとに、古墳のつくり方を復元してみましよう。

## 鳥取県埋蔵文化財センター

鳥取県岩美郡国府町宮下1260

電話 0857-27-6711 FAX 0857-27-6712

ホームページ <http://www.pref.tottori.jp/maibun/>



## 1 選地、地山整形、地割り

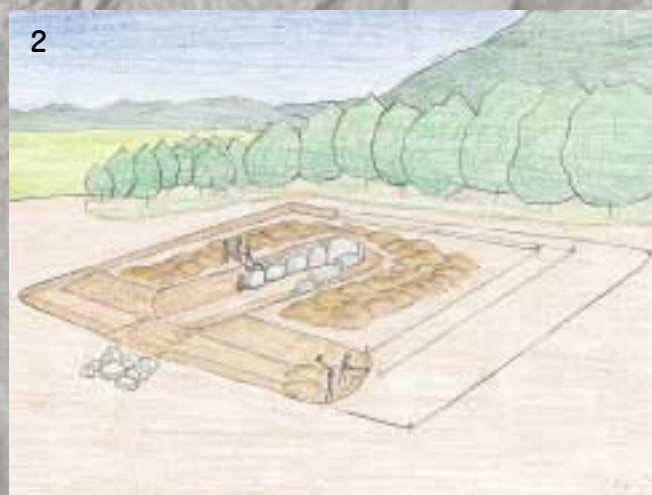
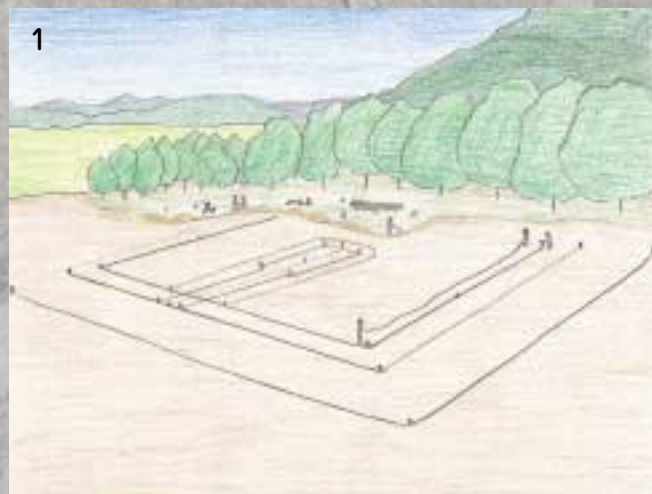
古墳は土を盛り上げてつくるため、その重さに耐えられるかたい土地を選ぶ必要があります。さらに、当時の集落などを見下ろすような場所など、つくる場所にも意味があったと考えられます。

古墳をつくる場所を選ぶと、次はつくるための準備をします。まず、木を切り払い、地面を平らにします。次に、古墳の設計図を地面に描きます。古墳の範囲や亡くなった人を埋葬する場所などに杭を打つなどしていたのでしょう。

小畑古墳群では、古墳の大きさなどを定める時の基準として、当時中国にあった唐の尺度（1尺は現在の29.7cm）を使用していたと推定できます。

# 古墳のつくり方

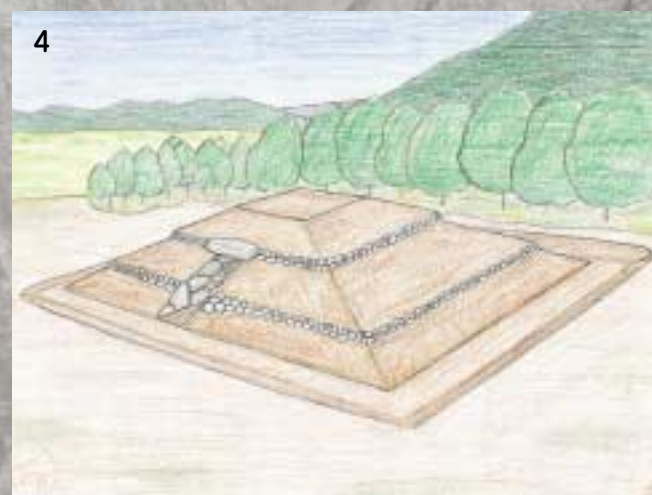
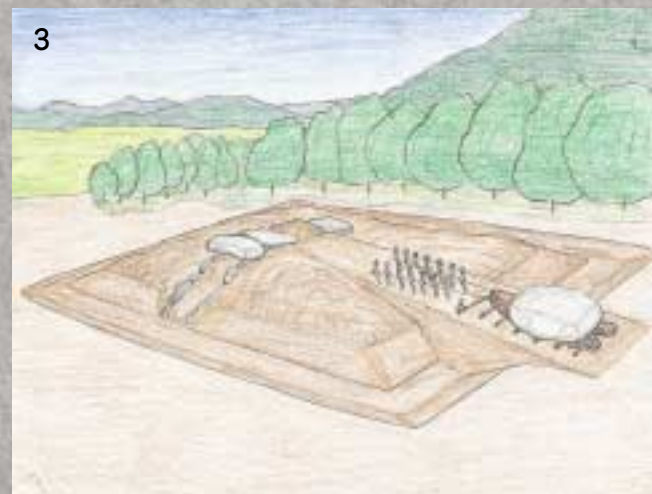
(イメージ)



## 3 横穴式石室をつくる②

一番奥以外の腰石の上に、高さが2～3mになるまでやや小さな石を数段積み重ねます。石を積みごとに安定させるため小石を隙間に入れ、うしろに土を盛っていきます。

壁ができあがると、石室の天井となる石をのせます。天井に使用された石は、この古墳の場合4個あり、最小でも8トン、最大で31トンありました。これほど大きな石でも、すべて人の力で運びました。また、天井石をのせる時には石室の内側にも土を入れて、壁が崩れないようにしていたと考えられます。



「石室をつくるためのくぼみと盛った土」



「石室の壁」

## 2 横穴式石室をつくる①

古墳時代前期～中期の古墳は古墳全体をつくってから、亡くなった人を埋葬する場所をつくっていました。古墳時代後期になると、古墳をつくりながら亡くなった人を埋葬する場所（横穴式石室）をつくるのが一般的となります。

まず、石室をつくる部分を深さ1.5m程度、石室より一回り大きく掘り下げます。このくぼみの中に、石室の一番下の石（腰石）を並べます。この石は高さが1mを超えるような大きな石を使っており、一番奥となる石は高さ2mありました。安定させるために根元に小石などをいれ、あいた部分に土を詰めます。石を安定させるために、少しずつ土を盛ってはつきかためる、という作業を繰り返していたようです。古墳の周囲に溝を掘って、その土を盛る土に利用していたと考えられます。



「天井石をはずしているようです」

## 4 盛り土、整形

石室を覆うように土を盛り、古墳の形を整えます。この古墳は方墳ですので、四角錐状に土を盛り上げます。頂上までの高さは5m近くあったと考えられます。

このとき古墳の外側に、2列に石を積み上げています。おそらく、土が崩れるのを防ぐ目的があったのでしょう。